

# 2027年卒 採用・インターンシップ 動向調査

つくるのは、未来の選択肢

学情

GAKUJO

東証プライム上場

## 調査概要

株式会社学情では、企業の2027年卒採用における採用ならびにインターンシップ計画の動向を明らかにするため、人事担当者を対象にWeb上でのアンケート調査を実施いたしました。

その回答を集計し、「2027年卒 採用・インターンシップ動向調査」として発表いたします。

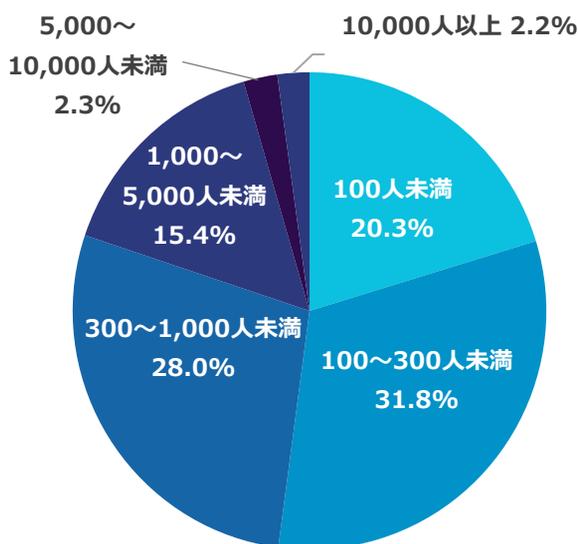
### ■ 調査概要

- ・ 調査期間：2025年6月18日～2025年6月30日
- ・ 調査対象：企業・団体の人事担当者
- ・ 有効回答数：735社
- ・ 調査方法：Web上でのアンケート調査

※複数回答を認めている設問では、パーセンテージの合計は100%を上回る可能性があります。

※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が100.0%にならない場合があります。

回答企業属性  
従業員数



# 目次／本書の概要

## ● 2027年卒の採用マーケット状況 ／ [p.3](#)

- 2027年卒採用の難易度が高くなると回答した企業が8割超
- 2027年卒採用は「早期化する」と回答した企業は9割に迫る

## ● 2027年卒のインターンシップ計画状況 ／ [p.4](#)

- 2027年卒採用では、インターンシップの広報開始・開催時期を「前倒しする」と回答した企業が6割に迫る
- インターンシップやオープン・カンパニーの広報開始時期は「2025年4月」が最多
- インターンシップやオープン・カンパニーの開催開始時期は「8月」が最多、次いで「6月」

## ● 「三省合意」によるインターンシップのルール変更を受けて、採用と連携可能なインターンシップの実施に関する対応 ／ [p.6](#)

- 2027年卒採用において、オープン・カンパニーを実施する企業は56.7%
- 2027年卒採用において、採用と連携可能なインターンシップの実施を検討している企業は27.8%
- 対応していること・対応を検討していることは「インターンシップやオープン・カンパニーのコンテンツを見直す」が最多
- 「インターンシップ参加者には、3年生の3月を待たずに採用選考の案内をする」と回答した企業が43.1%

## ● 2027年卒の採用計画状況 ／ [p.8](#)

- 2027年卒の選考開始は「2025年10月」「2026年3月」が2つのピーク。「2025年内」は6割近くに
- 2027年卒採用の内々定出し開始予定は「2025年12月」が最多。年内開始の企業が45%

## ● appendix | 2026年卒の採用マーケット状況 ／ [p.9](#)

- 2026年卒採用が「難しい」と回答した企業が8割超
- 2026年卒採用の難易度が高いことを受け、「20代通年採用」の実施企業は5割超

## アンケート結果

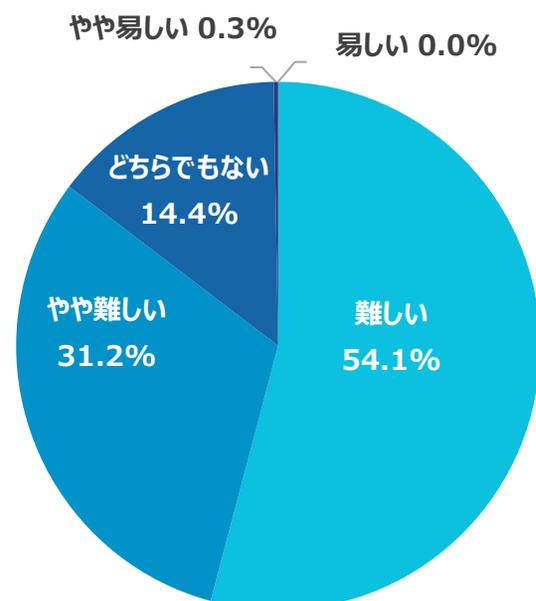
### ● 2027年卒の採用マーケット状況

- 2027年卒採用の難易度が高くなると回答した企業が8割超
- 2027年卒採用は「早期化する」と回答した企業は9割に迫る

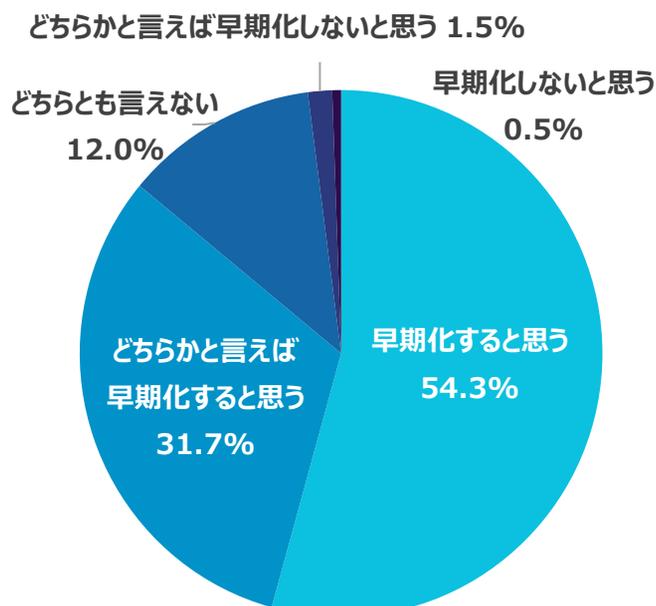
2027年卒採用の難易度をどう予想しているかを尋ねたところ、「難しい」と回答した企業が54.1%に上り、「やや難しい」31.2%を合わせると85.3%。**8割超の企業が難易度が上がる**とみています。その理由としては「早期化・長期化が極端に表れ対応が難しい」「学生優位、大企業志向の強まり」「激化する競争環境」「学生の情報収集力が高く、省エネな就活になっている」「AI活用など学生の動き方の変化」「内定承諾後辞退が当たり前になった」「学生のコミュニケーション能力が低下」「採用媒体の多様化」といった要因をあげる声がありました。

また、2027年卒採用は「早期化すると思う」と回答した企業は54.3%。「どちらかと言えば早期化すると思う」と合わせると、**早期化すると考えている企業は86.0%**と9割に迫りました。「売り手市場だから企業は焦って早期化する」「少ない若い人材を取るために早期化は必然」「インターンシップからの採用選考フローが定着」「大企業が早期化を進めている」「企業による青田買いが加速する」「学生の動き出しが早い」「企業は大学1~2年生へのアプローチを強化し、大学側も低学年からの就職活動（自己分析・企業理解）支援を進めているところもある」などの声が寄せられています。

2027年卒採用における難易度について、どのように予想されていますか？



2027年卒採用は早期化の傾向が強まると思いますか？

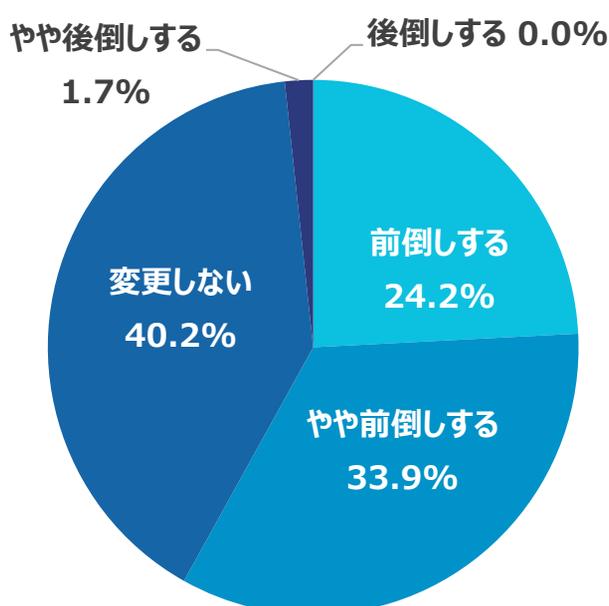


### ● 2027年卒のインターンシップ計画状況

- 2027年卒採用では、インターンシップの広報開始・開催時期を「前倒しする」と回答した企業が6割に迫る
- インターンシップやオープン・カンパニーの広報開始時期は「2025年4月」が最多
- インターンシップやオープン・カンパニーの開催開始時期は「2025年8月」が最多、次いで「2025年6月」

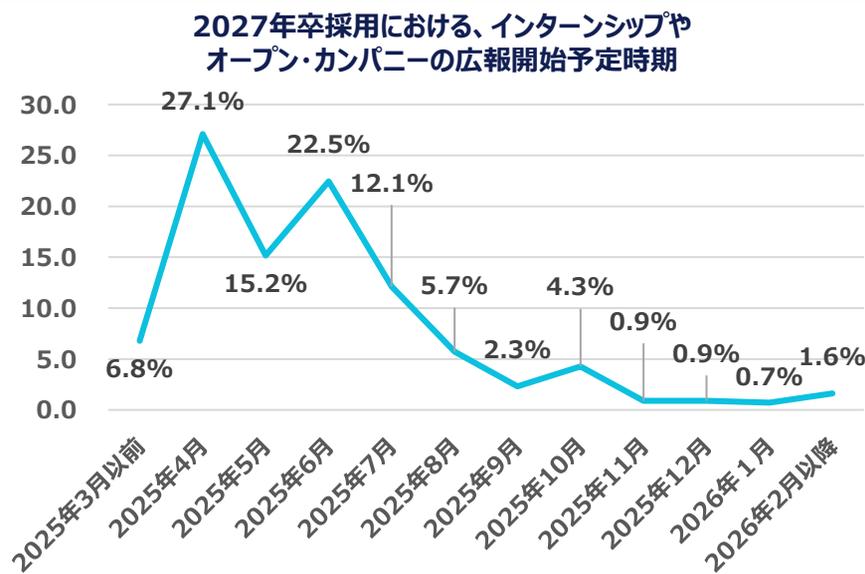
2027年卒採用のインターンシップについて、広報開始時期や開催時期を「前倒しする」と回答した企業が24.2%に上りました。「やや前倒しする」33.9%を合わせると、インターンシップなどの広報開始時期や開催時期の**前倒しを予定する企業が6割に迫ります**。「就活生の動きが早期化したため」「他社と比較して出遅れないため」「早期に優秀な学生と接点を持つため」「学生にとって最初の1社になることが重要だと考えているため」などの声が上がっています。

#### 2027年卒採用は、2026年卒採用と比較して、 インターンシップなど広報開始時期・開催時期を前倒しますか？



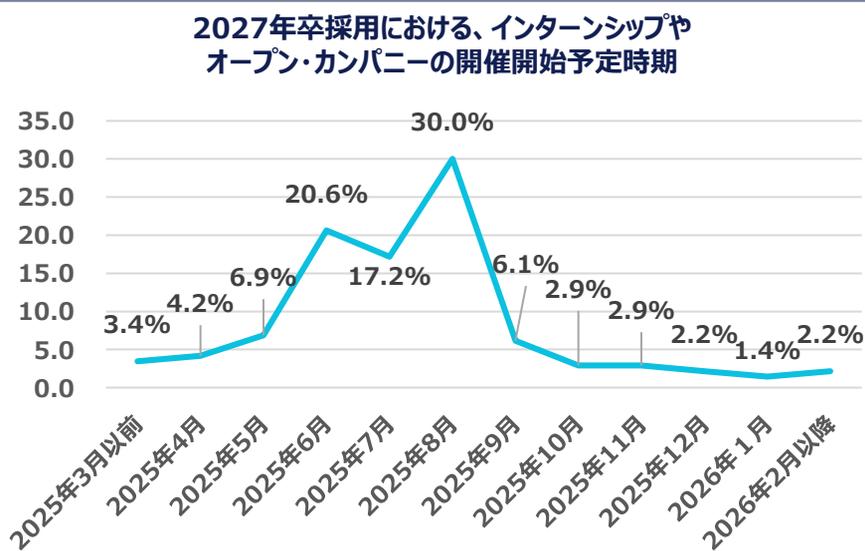
※2026年卒採用で、インターンシップやオープン・カンパニーなどを実施した企業の人事担当者が回答 (n=525)

2027年卒採用のインターンシップやオープン・カンパニーの広報開始時期は、「2025年4月」が27.1%で最多。次いで、「2025年6月」22.5%が続きます。3年生の5月には約5割の企業が、**8月には約9割の企業が、インターンシップやオープン・カンパニーの広報を開始している**と見込まれます。



※2027年卒採用で、インターンシップやオープン・カンパニーなどを実施予定の人事担当者が回答 (n=561)

2027年卒採用でインターンシップやオープン・カンパニーを実施する企業に最初の開催時期（予定を含む）を尋ねたところ、「2025年8月」が最多で30.0%に上り、次いで「同6月」20.6%、「同7月」17.2%が続き、この3カ月で計67.8%を占めました。**夏の3カ月に集中しており、同9月以降は一桁に急落します。**同5月以前の開催も計14.5%ありました。



※2027年卒採用で、インターンシップやオープン・カンパニーなどを実施予定の人事担当者が回答 (n=553)

## アンケート結果

### ● 「三省合意」によるインターンシップのルール変更を受けて、採用と連携可能なインターンシップの実施に関する対応

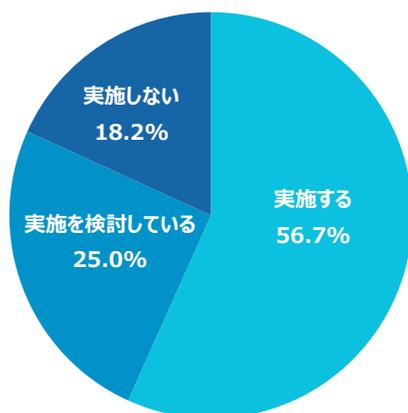
- 2027年卒採用において、オープン・カンパニーを実施する企業は56.7%
- 2027年卒採用において、採用と連携可能なインターンシップの実施を検討している企業は27.8%

2025年卒採用から、「5日間以上実施」「半分超の日数を職場での就業体験に充てる」「長期休暇期間に実施」など一定の条件下で、インターンシップで取得した学生情報を採用選考に活用できるようになりました。

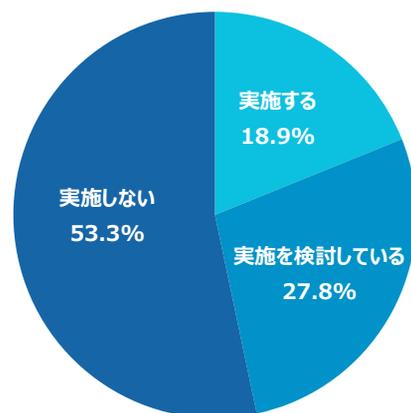
2027年卒採用で、1Dayなどのオープン・カンパニーを「実施する」と回答した企業が56.7%に上りました。「実施を検討している」は25.0%で、8割を超す企業がオープン・カンパニーの実施に積極的なことが分かりました。「早期に学生と接点を持ち、母集団形成を図るためには必須」「ミスマッチを防ぐ最善策」「インターンシップ実施は人的リソースが厳しくオープン・カンパニーが現実的な選択肢」「タイパ重視の学生のニーズに対応するため、気軽に参加できるプログラムを用意したい」「昨年度も好評だったため今年も継続して実施予定」などの声が寄せられました。

2027年卒採用で、「5日間以上」など採用と連携可能なインターンシップを実施するかを尋ねたところ、「実施する」が18.9%、「実施を検討している」が27.8%で、実施に前向きな企業が計46.7%と半数に迫りました。「インターンシップに参加した学生は会社への理解も高く、承諾率が高い」「仕事や社風をある程度理解してから入社した方が離職防止につながる」「早期に実施することで意識の高い学生を獲得できる」といった前向きな声の一方で、「5日間は学生側も負担感あるとの声がある」「守秘義務などから実施が難しかったが、検討は続けている」など、慎重に実施を検討する企業の声も寄せられました。

2027年卒採用でオープン・カンパニーを実施しますか？



2027年卒採用で、採用と連携可能なインターンシップを実施しますか？

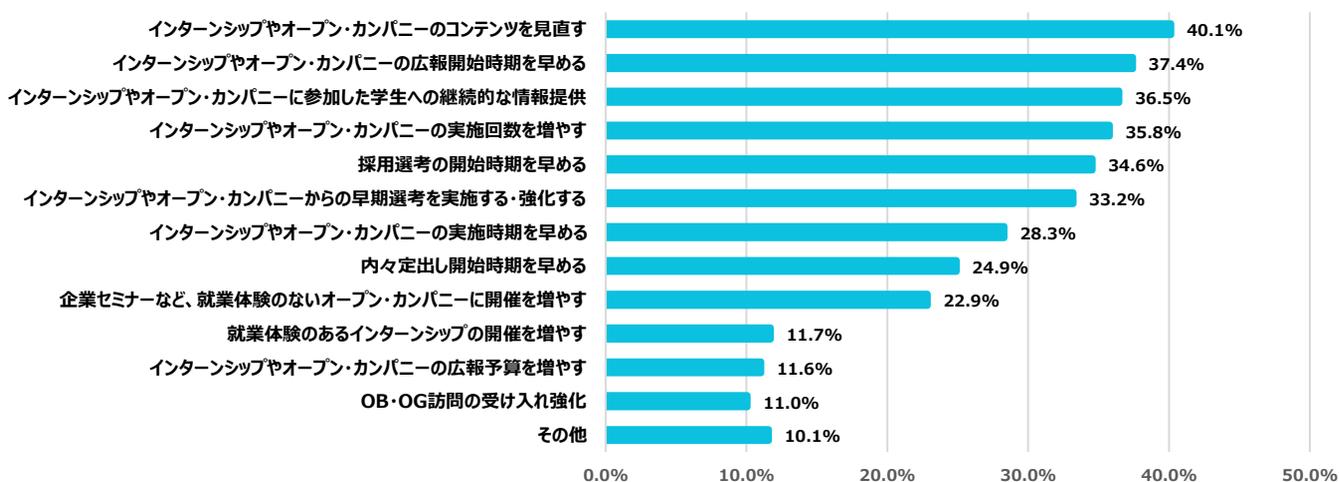


- 対応していること・対応を検討していることは「インターンシップやオープン・カンパニーのコンテンツを見直す」が最多
- 「インターンシップ参加者には、3年生の3月を待たずに採用選考の案内をする」と回答した企業が43.1%

2027年卒のインターンシップより対応していること・対応を検討していることは、「インターンシップやオープン・カンパニーのコンテンツを見直す」が40.1%で最多。次いで、「インターンシップやオープン・カンパニーの広報開始時期を早める」37.4%、「インターンシップやオープン・カンパニーに参加した学生への継続的な情報提供」36.5%、「インターンシップやオープン・カンパニーの実施回数を増やす」35.8%が続きました。

インターンシップと採用の連携について、「3年生の3月を待たずに採用選考の案内をする」と回答した企業が43.1%に上りました。「参加者は通常選考で優遇」は20.4%、「インターンシップ等の中で選考を行っている」が7.3%で、合わせると7割の企業が採用選考に結び付けていることが分かりました。

2027年卒採用のインターンシップより  
対応していること・対応を検討していること（※複数回答可）



2027年卒採用で、インターンシップやオープン・カンパニーと採用選考の連携を予定していますか？



## アンケート結果

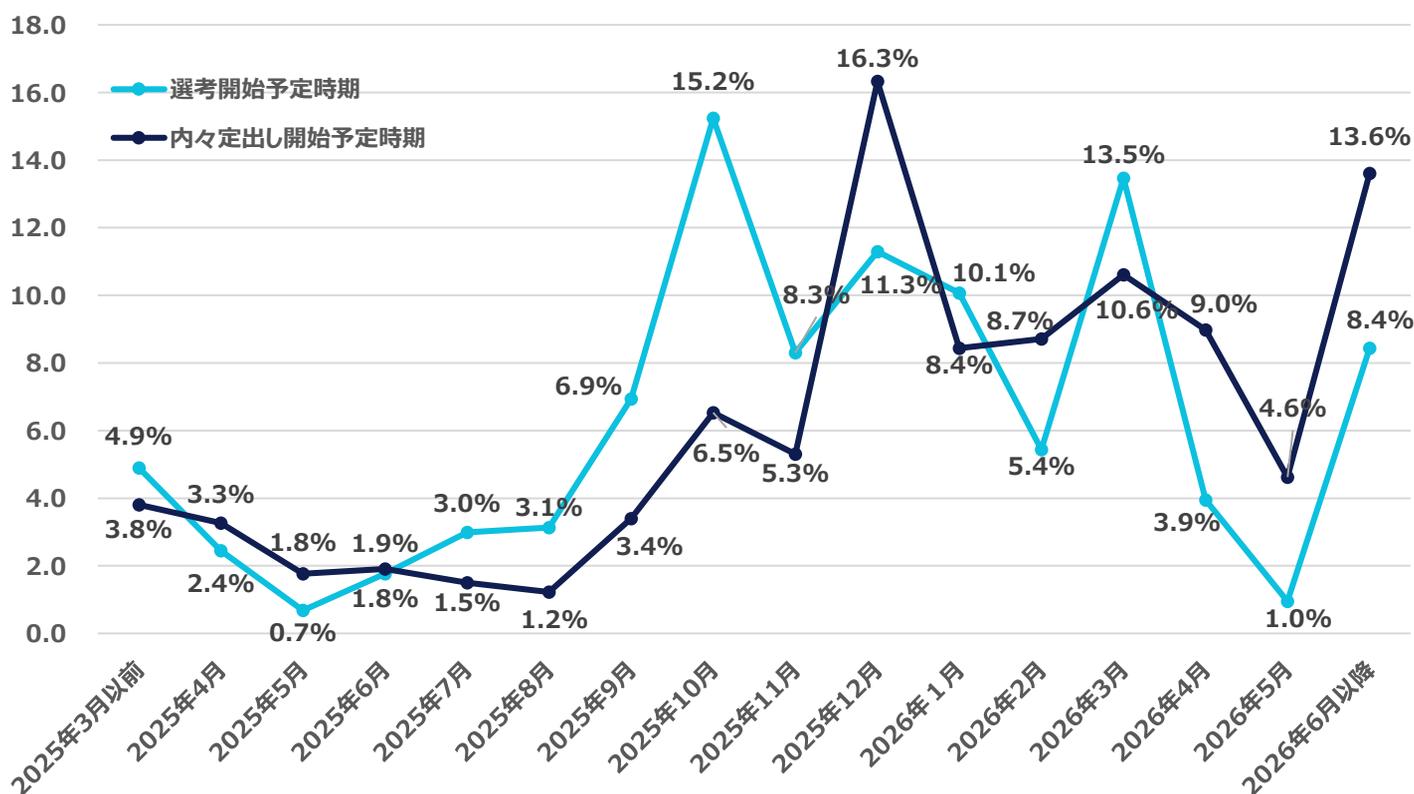
### ● 2027年卒の採用計画状況

- 2027年卒の選考開始は「2025年10月」「2026年3月」が2つのピーク。「2025年内」は6割近くに
- 2027年卒採用の内々定出し開始予定は「2025年12月」が最多。年内開始の企業が45%

2027年卒採用の選考開始を予定している時期は、「2025年10月」が15.2%で最多。次いで、採用広報解禁の「2026年3月」が13.5%で続き、早期選考と本選考開始時期の2つのピークができました。**2025年内に始めるとした企業は計57.6%**と6割近くに。年内選考開始が48.7%だった前年調査から急増しており、さらに早期化が進むのは間違いなさそうです。

2027年卒採用の内々定出しの開始予定は、「2025年12月」が16.3%で突出しています。年内に一定数の内々定出者を確保しようと、内々定出しを12月スタートに早める企業が多いことが分かりました。「同11月以前」を合わせると計45.0%に。**半数近い企業が2025年のうちに内々定出しを始める**予定です。

2027年卒採用における、選考・内々定出しの開始予定時期



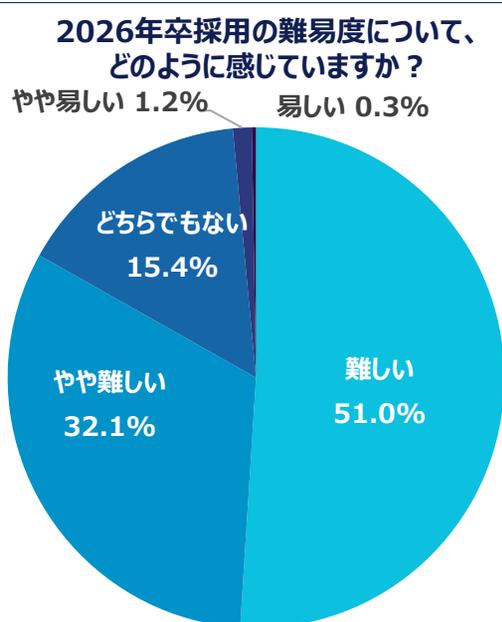
## アンケート結果

### ● appendix | 2026年卒の採用マーケット状況

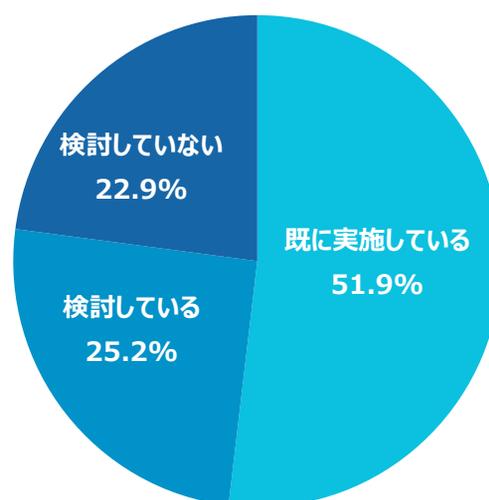
- 2026年卒採用が「難しい」と回答した企業が8割超
- 2026年卒採用の難易度が高いことを受け、「20代通年採用」の実施企業は5割超

2026年卒採用の難易度について、「難しい」と回答した企業が51.0%に上りました。「やや難しい」32.1%を合わせると、**8割以上の企業が難易度が高い**と感じています。「学生数減、一人当たりエントリー数減、売り手市場のため辞退率が高い」「絶対的母数不足、早期化」「売り手市場の加速で、母集団の質量ともに低下している一方、採用手法も多様化している」「早期化の加速と長期化の進行、二極化が進んだ結果、さらに読みづらくなった」「理系人材の獲得が難しい」など、売り手市場や早期化を指摘する声が上がりました。

2026年卒採用の難易度が高いことを受け、既卒や第二新卒など20代を対象にした「**20代通年採用**」を「**既に実施している**」と回答した企業が**51.9%**と過半数を占めました。また、「検討している」と答えた企業は25.2%でした。新卒採用の難易度の高まりを受け、20代通年採用の導入に踏み切る企業や、導入を検討する企業が多いことが分かります。前年同時期に調査した同アンケートでは、「既に実施している」との回答が57.3%、「検討している」は33.3%でした。今回はいずれも前年より減りましたが、20代通年採用が広がる傾向はなお続いています。



2026年卒採用の難易度が高いことを受け、通年採用（20代を対象にした中途採用）を検討していますか？



2026年卒採用の難易度について、難しいと感じている方が回答(n=611)

## お問い合わせ

- ✓ 新卒採用サービスに関するお問い合わせ

**RE就活 キャンパス** [https://service.gakujo.ne.jp/services/re\\_campus/](https://service.gakujo.ne.jp/services/re_campus/)

- ✓ キャリア（経験者）採用サービスに関するお問い合わせ

**RE就活** <https://service.gakujo.ne.jp/services/rekatsu/>

お問い合わせ  
<https://service.gakujo.ne.jp/inquiry/form/>

資料ダウンロード  
[https://service.gakujo.ne.jp/services/re\\_campus/](https://service.gakujo.ne.jp/services/re_campus/)

株式会社学情  
<https://company.gakujo.ne.jp/>



お問い合わせ



資料ダウンロード

つくるのは、未来の選択股

**学情**  
GAKUJO

東証プライム上場



10820003(14)